

Time:13:30時点

※前回報：10月18日報 Vol:25

統括部 企画統括課

今週のTOPIC

IEAはLNG市況逼迫と石油供給減少が歴史的エネルギー危機に繋がるとの見解示す

■ [11月CP] プロパン：\$610（前月比+\$20）、ブタン：\$610（前月比+\$50） ■ [10月MB平均]：\$442（前月比▲\$76）

エネルギー市場

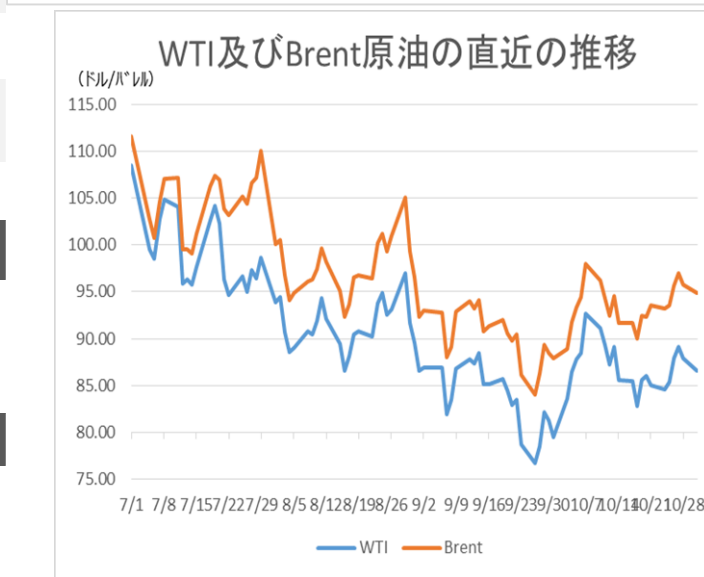
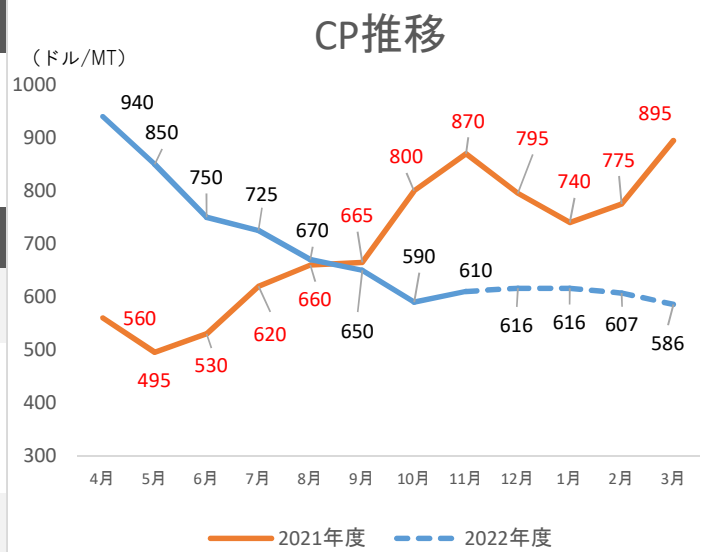
原油 先物 (USD/BBL)	今回
NY/WTI (12月)	86.53
北海Brent (12月)	94.83

LPガス 先物 (USD/MT)	AL熱量換算比			
プロパン予想値	今回	前回比	今回	前回比
CP 12月	616	+42	78%	+8%
MB 11月	457	±0		

プロパン	1月	2月	3月	4月	5月
CP先物	616	607	586	564	548
プロパン	12月	1月	2月	3月	4月
MB見通し	456	460	459	460	440

外航フレート (USD/MT)	10/31時点			
中東-日本	103.0			
米国-日本 (パナマ運河経由)	147.5			
為替/TTS	11月予測	10月	9月	8月
USD/円	20日 149.25	146.84	141.57	135.83
	末日 149.26	148.19	144.09	136.24

LPG元売り11月改定幅 (円/t)	プロパン	ブタン
ジャパンガスエナジー	改定レンジ：▲1,370	+2,370
ENEOSグローブ	改定レンジ：▲1,800	+2,000
アストモスエネルギー	改定レンジ：▲3,000	+1,000
ジクシス	改定レンジ：▲1,700	+2,100



マーケット概況		今回	今回	
NYダウ (US \$)		32,834.61	TOPIX (円)	1,938.50
S&P500 (US \$)		3,890.42	金 (Gold) 先物 (US \$)	1,649.40
米国債券10年利回り (%)		3.984	VIX恐怖指数 (%)	25.91
日経平均 (円)		27,678.92		

今週のTOPIC

IEAはLNG市況逼迫と石油供給減少が歴史的エネルギー危機に繋がるとの見解示す

原油概況

★供給不足に対する警戒感と需要減退予測が交錯しWTI \$80台継続

影響度

強気・
上昇要因

- ① 米国経済指標の軟化でFRBによる利上げ予測が後退、原油市況上昇（FRB＝米連邦準備理事会）
- ② ブラジルの7-9月原油生産量は前年同期比6.8%減の日量211万バレル
- ③ 米国の9月原油輸出量は日量510万バレルと過去最大を記録

弱気・
下降要因

- ① バイデン大統領は年内にSPR1,500万バレルを追加放出することを発表（SPR＝戦略石油備蓄）
- ② 中国の1-9月原油輸入は日量990万バレルと前年同期比4.3%減少
- ③ 中国の7-9月GDPはコロナ規制影響で政府目標の5.5%を下回る3.9%

LPガス概況

★北半球需要期入りと中国の石油化学工業需要高まり背景にCPが\$600台へ上昇

(強気)

- ① 中国石油化学工業の収益改善を受け原料のプロパン需要が堅調
- ② 中国の9月LPG輸入量は279万トンと前年同月比31.2%増加
- ③ LNG高騰により韓国は3月までにLPG47万tを都市ガスに混入すると決定

「米国戦略石油備蓄放出の影響」

- ・米国の戦略石油備蓄（SPR）は1975年、その2年前に起きたOPECの石油禁輸措置のようなエネルギー供給中断に繋がる悪影響を回避する目的で構築されました。
- ・2010年のピーク時には備蓄量が7億2,660万バレルに達し、米国の約70日分の需要量に相当しています。（2022年現在4億5,000万バレル）
- ・SPRの放出は短期的に石油市況を抑制する効果が期待できますが、いずれ買い戻す事となる為、長期的には石油市況上昇の要因にもなり得ます。